

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



すべての災害は
防ぐことができる

★ 今月の事故 ★

新年度を迎えた今月号も、引き続き、事故報告をいただいた事故の中から特に会員のみなさまに事故防止の参考となるような事故事例及び事故防止対策について掲載することとしました。安全原則の1つである「すべての災害は防ぐことができる」をモットーに、全国で発生した事故の内容、事故が起きた原因、どうすれば事故を防ぐことができたのか等をお伝えしていきたいと思います。

1. 事故の概要（就業途上）

就業場所に向かうため、バスに乗り、降車後、片側1車線の車道の横断歩道外を横断中に、向かい側から右折してきた車両に接触して転倒、頭部を強打して頭蓋骨を骨折。7ヶ月経った現在も入院中。

2. 事故の原因

バス停降車後、不用意に横断歩道外の車道を横断したことが原因と思われる。

3. 再発防止策

【センター】

安全・適正対策委員会の開催。安全・適正委員会で報告。
会員への周知は、機関紙・支部ニュース等で注意喚起を掲載。

【連合本部】

基本的な交通ルール（道路を横切る際には横断歩道を渡るなど）の順守再確認を徹底する。

4. 全シ協から

今回の事故は、横断歩道外を横断中の事故です。以前、横断歩道側の信号が赤であるにもかかわらず渡って事故に遭うというケースもありました。いずれも基本的な交通ルールを守っていれば防げたと考えられ、非常に残念な結果となってしまいました。

年齢を重ねると、歩行速度が遅くなるなど加齢に伴う身体能力の低下などありますが、それを十分に認識せず、以前と同様の横断をしようとしている可能性があったこと、また、あまり危険ではないと自己判断したのではないかと思います。

自分の行う横断が危険であるのかを客観的に捉える機会を設け、自分の行動についての確に認識し、安全を優先する心がけが大切です。交通ルールを守って、事故に遭わないようにしてください。

令和3年3月（令和2年度）事故速報

（1）重篤事故

3月は、2件の重篤事故報告があり、その結果、令和2年度の重篤事故は41件となり、前年度（令和元年度）の37件と比較して4件の増加となりました。

内訳でみますと、就業途上の事故は前年度の16件から15件と1件減少しましたが、就業中の事故については、前年度より5件も増加してしまいました。

また、前年度18件であった死亡事故は27件と9件の大幅増となってしまいました。

3月報告分までの累計

令和2年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和元年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	26(0)	14(0)	12(0)	26(0)	0(0)	就業中	21	12	9	20	1	
就業途上	15(2)	13(1)	2(1)	9(2)	6(0)	就業途上	16	6	10	13	3	
計	41(2)	27(1)	14(1)	35(2)	6(0)	計	37	18	19	33	4	

↳ 対前年度比 110.8% （ ）は、当月報告分です。

3月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
40	男 84歳	就業途上 (死亡)	就業先からの帰宅途中で、信号機のある十字路交差点で、乗用車が右折しようとした際に、横断歩道を歩いていた会員をはねたとみられる。	—	—	徒歩
41	男 78歳	就業途上 (入院)	就業場所に向かう途中、市バスを降りて横断歩道がないところを横断中に、右折してきた乗用車に接触して転倒し、頭部を強打して頭蓋骨骨折した。入院後6カ月を経過した現在も入院中である。	—	—	徒歩

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

3月は、就業中の事故24件、就業途上の事故11件と、合計35件であり、前年同月の32件と比して3件の増加となっています。また、男女別では、男性は5件の増加となっており、女性は2件の減少となっています。

今月は令和2年度分の確定月となります。令和2年度の結果を昨年度（令和元年度）と比較してみると、昨年度の308件と比して、本年度は256件と52件の大幅減少となりました。

就業中・就業途上別でみると、就業中は44件減少となっており、就業途上は8件の減少となっています。男女別では、男性は16件の減少となっており、女性は36件の減少となっています。

令和2年度3月分（令和2年度の累計）

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		3月	累計	3月	累計	3月	累計	3月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	9(8)	81(91)	8(8)	79(90)	1(0)	2(1)	75	74	
	除草作業	3(3)	30(43)	2(2)	25(34)	1(1)	5(9)	78	74	
	屋内・屋外清掃作業	5(5)	39(40)	2(0)	18(16)	3(5)	21(24)	74	76	
	その他	7(7)	36(56)	6(3)	28(35)	1(4)	8(21)	73	74	
	計	24(23)	186(230)	18(13)	150(175)	6(10)	36(55)	75	74	
就業途上	交 通 手 段	徒歩	4(1)	20(24)	1(0)	9(8)	3(1)	11(16)	77	75
		自転車	5(7)	37(38)	3(5)	24(21)	2(2)	13(17)	77	77
		バイク	2(1)	11(12)	2(0)	7(2)	0(1)	4(10)	73	73
		自動車	0(0)	2(4)	0(0)	2(2)	0(0)	0(2)	—	76
		計	11(9)	70(78)	5(5)	42(33)	4(4)	28(45)	76	75
合計		35(32)	256(308)	23(18)	192(208)	12(14)	64(100)	76	75	

()は令和元年度同月の発生件数

※「男性会員の6ヶ月（180日）以上の入院報告」が1件あったので、重篤事故（3月報告分）として計上し、その分の1件を就業途上・徒歩の累計から差引いた。

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います（平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済）。

シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

1月は合計6件であり、前年同月の8件と比較して2件の減少となっています。また、男女別では、男性は1件の増加となっており、女性は3件の減少となっています。

1月までの累計で比較してみると、昨年度の90件と比して、本年度は96件と6件の増加となっています。男女別では、男性は53件で同数となっており、女性は43件で6件の増加となっています。

なお、1月に死亡事故はありませんでした。

令和2年度1月分

仕事の型（中分類）	中分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		1月	累計	1月	累計	1月	累計	1月	累計
建築・土木・測量技術者	9	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	—	—
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
一般事務の職業	25	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
出荷・受付係事務員	27	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	—	—
商品販売の職業	32	0 (2)	1 (4)	0 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (3)	—	70
家庭生活支援サービスの職業	35	0 (0)	10 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	9 (1)	—	68
介護サービスの職業	36	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	—	71
保健医療の職業	37	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	78
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
飲食物調理の職業	39	0 (1)	1 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (7)	—	78
接客・給士の職業	40	0 (0)	0 (5)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (4)	—	—
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	—	71
その他のサービスの職業	42	1 (1)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (4)	71	70
農業の職業	46	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	77
生産設備制御・監視の職業 (金属材料製造)	49	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	66
生産設備制御・監視の職業 (機械組立)	51	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
製品製造・加工処理の職業	54	0 (0)	7 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (1)	—	71
機械整備・修理の職業	60	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
製品検査の職業	62	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	63
生産関連・生産類似の職業	64	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	74	74
自動車運転の職業	66	0 (0)	2 (3)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	—	73
建設の職業	71	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	69
採掘の職業	74	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
運搬の職業	75	0 (0)	4 (7)	0 (0)	4 (7)	0 (0)	0 (0)	—	68
清掃の業務	76	1 (0)	19 (13)	1 (0)	12 (8)	0 (0)	7 (5)	79	71
包装の職業	77	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	—	68
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (2)	36 (27)	2 (1)	26 (19)	1 (1)	10 (8)	71	72
計	—	6 (8)	96 (90)	4 (3)	53 (53)	2 (5)	43 (37)	73	71

() は令和元年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。（令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済）

★ 安全リレー ★

奈良県における安全就業の取組み

1. 奈良県連合の概要（令和2年3月31日現在）

センター数	30（うち国庫補助対象団体 22）		
会員数	合計	男性	女性
	8,122 人	5,757 人	2,365 人
契約金額	合計	請負・委任	派遣
	3,876,393 千円	3,288,608 千円	587,785 千円
就業実人員	総合	請負・委任	派遣
	6,924 人	6,330 人	1,411 人
就業延人員	合計	請負・委任	派遣
	787,035 人日	663,350 人日	123,685 人日

2. 過去5年間の事故発生件数等

（1）団体傷害保険に係る事故発生件数等

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
合計	93	81	69	79	107
就業中	79	72	65	73	96
就業途上	14	9	4	6	11
（うち死亡）	0	1	0	0	0
度数率	23.63	20.37	17.29	20.18	28.25
強度率	0.51	1.20	0.70	0.29	1.05

傷害保険事故については、平成29年度以降、就業中及び就業途上の両方で増加傾向にあります。事故の型別にみると、直近3年間で多いものは、1番が「転倒」で約25%、2番が「刺され・かまれ」で約20%、3番が「切れ・こすれ」で約15%となっています。また、仕事の内容別にみると、直近3年間では、草刈り・剪定で約63%を占めています。

（2）賠償責任保険に係る事故発生件数

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
合計	69	77	66	66	78
身体	0	0	2	0	0
財物	69	77	64	66	78

賠償責任保険事故については、直近3年間では、草刈り作業時の飛び石による事故が約59%で1番多くなっています。また、飛び石による事故以外の事故も含めると草刈り作業時の事故が約70%を占めています。

3. 安全・適正就業対策委員会

委員会は、連合本部理事1名、センターの安全適正就業担当職員5人～7人、連合本部職員1名で構成されており、規定により年2回開催しています。

委員会での主な検討事項は、安全・適正就業対策研修会及び安全・適正就業対策パトロールの内容です。

令和2年度については、会員の交通安全対策として交通安全教材の配付を決定し、「シニアドライバーの安全運転（DVD、指導ガイド、冊子）／自動車安全運転センター制作」を全センターに配付しました。配付の理由は、一つは、過去3年連続、交通事故による会員の死亡事故が発生していること、一つは、会員の高齢化が進んでいることから、高齢ドライバーによる交通事故防止の一助とするためです。

4. 安全・適正就業対策研修会等

(1) 令和2年度 安全・適正就業対策研修会

開催日	令和2年11月13日（金）
参加者	センターの安全就業担当職員、安全就業委員等の22名
テーマⅠ	認知症サポーター養成講座～認知症を学び地域で支えよう～ 講師：奈良県福祉医療部 医療・介護保険局 地域包括ケア推進室 包括ケア推進係
テーマⅡ	シルバー交通安全アドバイザーとして ～いきいきと安全に過ごすためには～ 講師：奈良県警察本部交通部交通企画課

過去3年連続、会員の交通死亡事故が発生していることから、令和元年度に引き続き交通安全をテーマの一つに研修会を開催しました。

<テーマⅡ 交通安全研修の概要>

①「動画KYT」、「交通安全危険予測シミュレータ」等の機器を使用した疑似体験

②神経刺激体操の紹介（奈良県警察公式YouTubeチャンネルで配信あり）

日頃刺激していない体幹の運動神経を目覚めさせる体操

③東池袋の交通事故（平成31年4月19日）ご遺族からのメッセージの紹介

令和2年度 安全・適正就業対策研修会



(2) 令和元年度 安全就業担当国会議

開催日	令和2年2月4日(火)
参加者	センターの安全就業担当職員、安全就業委員等の34名
テーマ	「安全活動のポイント」と「KYTシートによる危険予知訓練の進め方について」 講師：労働安全コンサルタント

<労働安全コンサルタントによる研修概要>

実際に会員が就業している現場写真による「危険予知訓練(KYT)シート」を使用して、どんな危険がひそんでいるか等について参加者によるグループ討議を実施しました。

講師である労働安全コンサルタントは、一部センターの安全就業に携わっていただいています。

5. 安全・適正就業対策パトロール

令和2年度については、次の5センターにパトロールを実施しました(1センター中止)。

日	センター
11月6日(金)	五條市SC、葛城市SC
11月20日(金)	奈良市SC
11月27日(金)	河合町SC、大和郡山市SC

五條市SCは、会員の安全意識を高め、事故の防止を目的に、令和2年6月より「ペナルティ制度」を導入しました。

ペナルティ制度は、安全パトロール時に、安全保護具及び安全標識等が未着用(又は未設置)の会員に対し、同じ業務での就業を一定期間停止する制度です。

ペナルティ制度の導入に伴い、今まで実際に会員を就業停止とした例はありませんが、ヘルメットの着用率が大幅にアップするという効果が出ています。

<ペナルティ制度により着用義務のある安全保護具及び設置義務のある安全標識等>

安全保護具	ヘルメット、保護メガネ、安全帯
安全標識等	飛散防止具(飛散防止ネット、コンパネ等) 標識(看板、三角コーン等)、三脚開き止めチェーン

奈良県シルバー人材センター協議会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

「安全就業の手引 第六改訂」のお知らせ

表紙イメージ



本書は、平成2年に初版「シルバー人材センターの安全作業と会員の健康」（安全の手引）としてスタートし、第五改訂版が「安全・適正就業の手引」として編纂されてきたところです。

今回の第六改訂版については、シルバー派遣による就労拡大等の環境の変化を受け、「安全就業の手引」として、適正就業とは切り離してその充実を図った上で、編纂することとしました。

安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであります。

「改訂版発行にあたって」より抜粋

価格 2,200円(税込、送料は実費です。
お支払いの振込手数料はご負担いただきます)

お問い合わせは 企画情報課宛、下記FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail: zsk@sjc.ne.jp

- ★ご購入は、全シ協会専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。
- ★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記したFAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

★ 2021年 安全衛生カレンダー ★

5月

- 水防月間（北海道は6月）
- 看護週間（9日～15日）
- ごみ減量・リサイクル推進週間（30日～6月5日）
- 禁煙週間（31日～6月6日）

6月

- 全国安全週間準備期間（1日～30日）
- 土砂災害防止月間 ●環境月間
- 食育月間 ●男女雇用機会均等月間
- 農薬危害防止運動（1日～8月31日）
- 危険物安全週間（6日～12日）
- 歯と口の健康週間（4日～10日）
- 火薬類危害予防週間（10日～16日）

7月

- 全国安全週間（1日～7日） ●熱中症予防強化月間
- 国民安全の日（1日） ●全国鉱山保安週間（1日～7日）

8月

- 電気使用安全月間 ●食品衛生月間
- 防災週間（30日～9月5日） ●建築物防災週間（30日～9月5日）

9月

- 全国労働衛生週間準備期間（1日～30日）
- 職場の健康診断実施強化月間
- 船員労働安全衛生月間
- 食生活改善普及啓発月間
- 心とからだの健康推進運動（1日～30日）
- 全国作業環境測定・評価推進運動（1日～30日）
- 自動車点検整備推進運動強化月間（1日～10月31日）（沖縄県は8月～9月）
- 防災の日（1日） ●救急の日（9日）
- 自殺予防週間（10日～16日） ●秋の全国交通安全運動（21日～30日）
- 環境衛生週間（24日～10月1日）

（出所 中央労働災害防止協会「安全衛生かべしんぶん」より抜粋）

◆「安全衛生保護具の基礎知識」の動画が公開されました。◆

中央労働災害防止協会（中災防）は、新入社員や異動者など、主に新入者を対象とした安全衛生の動画教材「安全衛生保護具の基礎知識」を公益社団法人日本保安用品協会の協力のもと作成、中災防ホームページにて公開しています。

労働災害による休業4日以上死傷者数は、年間12万人にのぼります。

企業・職場では、労働災害を防ぐために機械の安全化や職場環境などさまざまな取り組みが行われていますが、働く人々が自らの身を守り、安全に作業をしていく上で、用途に合わせた安全衛生保護具を使用することも欠かせません。

正しく安全衛生保護具を使用し、安全で健康に働けるよう、基礎的な知識を種類ごとに学べるよう10種類の安全衛生保護具ごとに、選び方、使い方、管理方法、廃棄の仕方をイラストと動画で解説していて各種2～3分程度で、全体でも30分ほどで学べるようになっています。

場所や時間を選ばずに、パソコンやタブレット端末、スマートフォンからアクセスして無料で視聴できます。

特に、シルバー人材センターの安全就業には、「1 保護帽」「2 保護めがね」「8 墜落制止用器具」「9 安全靴」は教材として会員、職員の研修にご活用ください。

（中災防ホームページ「安全衛生保護具の基礎知識」

<https://www.jisha.or.jp/order/hogogu/>



安全就業のため活用してしてくださいね

編集後記

昨年4月、「世の中、新型コロナウイルス感染症一色」と書きましたが、新年度を迎えてもその状況に変わりはないまま4月も下旬となりました。今月は昨年度の事故状況を集計する月です。一昨年度は年度当初から会議等色々な場面で安全就業の徹底をお願いした結果、重篤事故の発生件数を37件まで減少することができましたが、昨年度は前年比4件増の41件。特に就業中の事故件数は5件増となってしまいました。相変わらず事故の多くは屋外作業で発生し、安全帽さえ被っていれば…というケースも散見されます。毎年申し上げていますが、シルバー事業において最も重要なことは、安全な就業環境の中で会員のみなさまが明るく楽しく、安心して働けることです。事故は一瞬の気の緩みから起こります。せっかくの楽しい就業の場を、最も大切な命を、事故により失うことがないよう会員のみなさま一人ひとりが日々気をつけて、長く生きがいをもって働き続けることができますよう、このニュースが一助になれば幸いです。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

(松山)

令和3年度より担当になりました高木です。安全関係のお仕事をさせていただくのは初めてで何かとご迷惑をおかけするかと存じますがよろしく願いいたします。最近思うことは、私も若輩ながら齢を重ね、頭も体も動きが鈍化しつつあり、いつも体のどこかが痛いような気がしています。20~30代の頃は多少無理をしても次の日には元気でしたが、今では疲れがとれず残るようになりました。このような状態であっても、仕事の場面ではつい我を忘れて行動をしてしまいます。これはミスや怪けに繋がる・・・と感じることも増えてきました。自分の年齢、体力に合わせた行動を心掛け、決して無理をしないように、仕事に興味に楽しんでいこうと思う今日この頃です。シルバー人材センターの関係者の皆さまも楽しい毎日を送るためにも、年齢、体、心にあった行動をしていただけたらと思います。毎日笑顔で一日一日を大事にお過ごしください。

(高木)

安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

チエブクロー反射缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

- 最小製作量:100個～、100個単位
- | | | |
|--------|--------|----------|
| 100個 | 本体価格:@ | 490円(税別) |
| 200個～ | 本体価格:@ | 390円(税別) |
| 500個～ | 本体価格:@ | 300円(税別) |
| 1000個～ | 本体価格:@ | 230円(税別) |
- サイズ:直径54mm
納期:約4週間
・クリップピン付
・OPP袋入り



絵、文字以外の地の部分が反射します。
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、
背景色を入れることができません。

チエブクロー缶バッジ

普及啓発グッズ、名札代わりにお薦め